

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

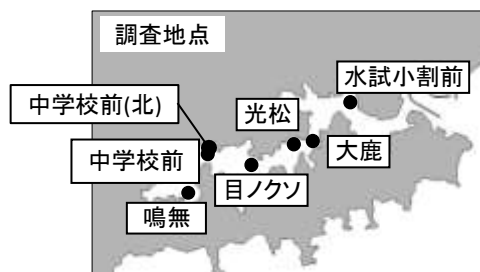
検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で7,000cells/ml、カレニア・ミキモイが最高で140cells/ml確認されました。

ヘテロシグマ・アカシオとカレニア・ミキモイの両種とも被害が想定される細胞密度を下回りましたが、引き続き慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	260	140	0	5,400
	2m	700	20	0	300
	透明度:2.8m	5m	240	70	0
目ノクソ	0m	5,300	130	0	850
	2m	1,200	60	0	60
	透明度:2.5m	5m	440	100	0
光松	0m	7,000	40	0	400
	2m	2,800	40	0	150
	透明度:2.5m	5m	750	30	0
大鹿	0m	1,800	20	0	250
	2m	1,450	40	0	950
	透明度:2.6m	5m	1,100	30	0
水試小割前	0m	800	5	0	0
	2m	1,050	10	0	0
	透明度:3.0m	5m	475	0	0
鳴無	0m	90	40	0	
	2m	260	2	0	
	透明度:2.8m	5m	570	2	0
中学校前(北)	0m	450	130	0	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモイ:
数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10~100cells/ml(魚類のへい死)